

事業概略書

事業名	障害児施設の一元化に向けた職員養成に関する調査研究事業
事業目的	<p>在宅障害児支援のための通所型発達支援の基本的な考え方と提供内容の検討が進められてきている。新しい通園施設の機能を想定した</p> <p>本研究の主たる目的は、就学前の子どもを受け入れている知的障害、肢体不自由、難聴幼児通園と児童デイサービス事業所の一元化に対する準備であり、施設職員養成のための研修に関する研究である。</p>
事業概要	<p>施設(事業所)の提供内容の把握、管理者および直接処遇職員の意識調査等を基に職員養成のための研修カリキュラムを検討し、平成22年2月に3日間にわたる模擬研修を開催した。</p> <p>研修テキストの原案には、多くの関係者に執筆を依頼し、発達支援に関わる施設(事業所)職員に必要な多面的な内容を盛り込んだ。今後、テキスト内容の整理を行う。</p>
事業実施結果及び効果	<p>在宅障害児支援のための通所型発達支援の基本的な考え方と提供内容を示し、利用者が気軽な支援から専門的な支援までを身近で受けるための人的資源の充実に寄与するものである。</p> <p>さらに今回の研究により実施された児童発達支援職員のための模擬研修で得られた知見を基にした職員研修の場が定期的にかつ各地で充実することが期待される。これから整理し、発刊する予定のテキストは、資源の偏在等により地域格差がいわれている全国の発達支援にかかわる職員が、理解しておくガイドラインを示すことになり、支援スキルの安定化と向上をもたらすものである。</p>
事業主体	<p>〒838-0142</p> <p>福岡県小郡市大板井</p> <p>社会福祉法人 こぐま福祉会内 全国児童発達支援協議会準備室</p> <p>TEL : 0942-72-7221 E-MAIL : office@cdsjapan.jp</p>

- (注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。
2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。